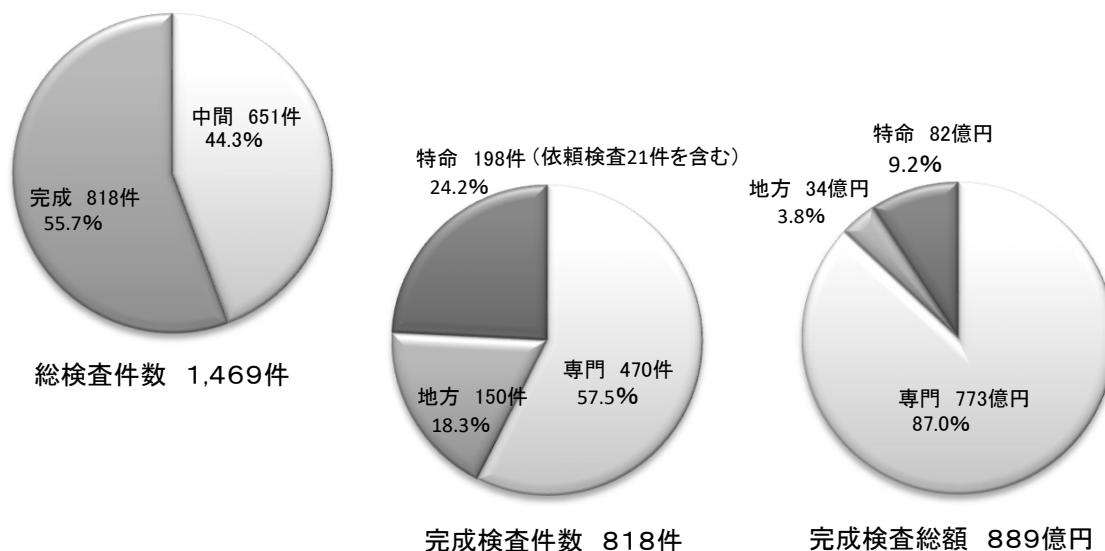


# 令和7年度工事検査実績

令和7年度の工事検査実績をとりまとめた結果は次のとおり。  
データ集計期間は、令和7年4月1日から令和8年3月31日まで。

## I 実績／全体

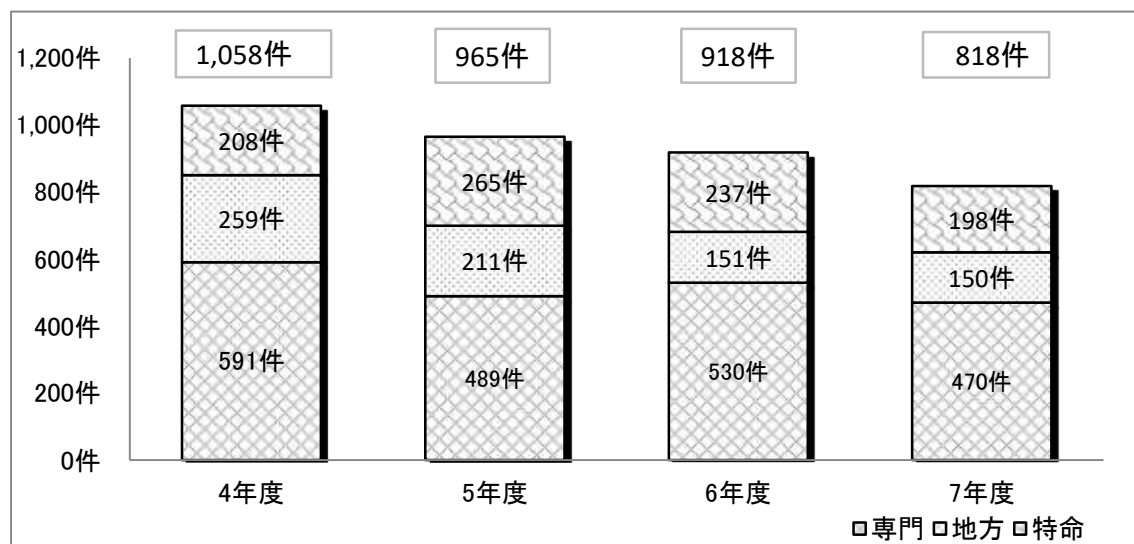
### 1) 検査件数／完成／中間



◇令和7年度の総検査件数(専門・地方・特命検査員検査合計)は、1,469件(R6は1,564件)だった。うち、完成検査は818件(55.7%)、中間検査は651件(44.3%)だった。

完成検査のうち専門検査員検査は470件(57.5%)、773億円(87.0%)だった。

### 2) 検査件数／完成／推移

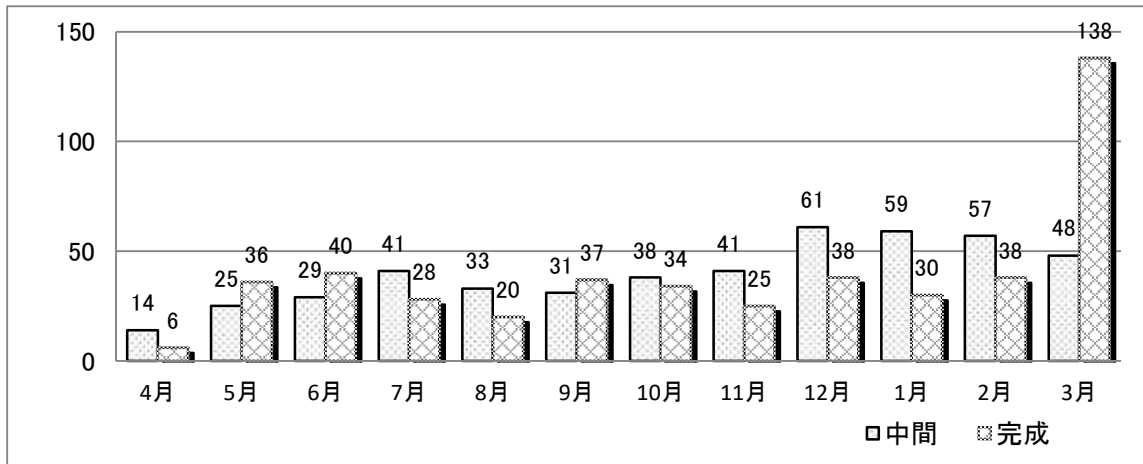


◇令和7年度完成検査件数は、全体的に減少傾向となり、合計で前年から100件減少した。

**備考** 専門検査員は、検査課に所属し、主として契約額が4,000万円以上の工事を検査。  
地方検査員は、県工事検査規程で定められた地方機関に配属され、契約額が4,000万円未満の工事を検査。  
特命検査員は、主務課長又は所長に別に職員のうちから任命され、県工事検査執行要領の範囲内の工事を検査。

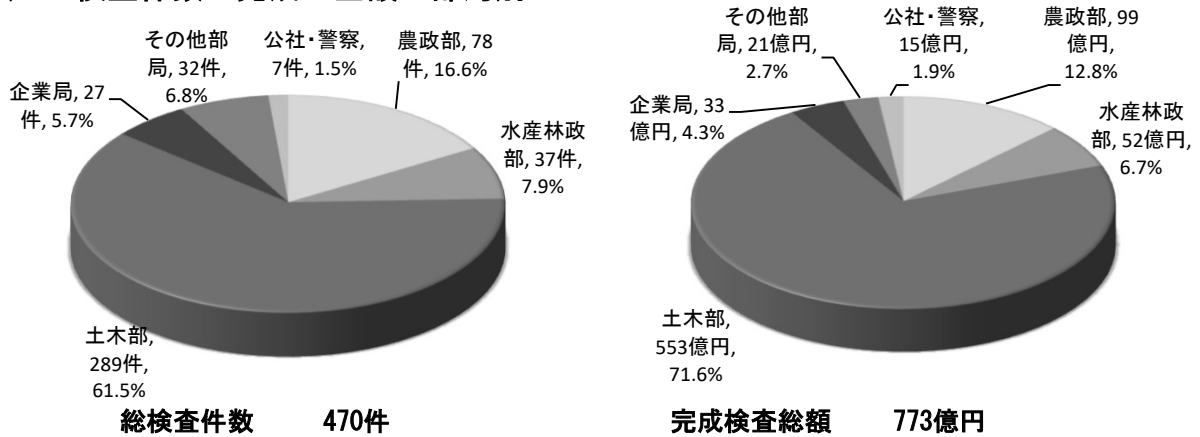
## Ⅱ 実績／専門検査員

### 1) 検査件数／月別



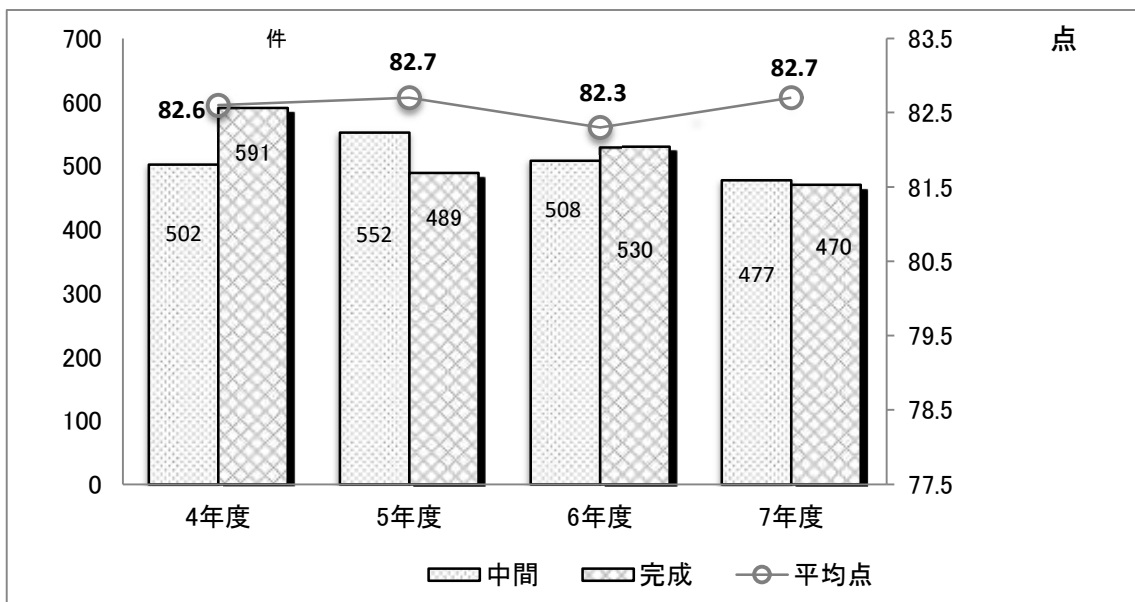
◇月ごとの専門検査員の完成検査件数は、4月(6件)が最も少なく、3月(138件)が最も多くなり突出した。  
中間検査件数は、4月、5月は10件～20件程度で推移し、それ以外の月は30件～60件程度で推移した。

### 2) 検査件数／完成／金額／部局別



◇専門検査員の完成検査件数は農政部、水産林政部と土木部の工事で86.0%(金額で91.1%)を占めた。

### 3) 検査件数／平均点／推移



◇専門検査員の完成検査件数は前年から60件の減、中間検査件数は31件の減となった。  
◇工事成績の平均点(考査を行った469件の平均)は、前年から0.4点高くなった。

### Ⅲ 中間検査の実施と工事成績／専門検査員

#### 1) 検査件数／平均点／中間検査実施率

◇完成検査は考査を行った工事を対象とする

	件数	合計点	平均点	中間検査実施率	備考	
R6	検査全体	1,037				
	■ 中間検査	508		96.0%	※1	
	■ 完成検査	529	43,518	82.3	81.5%	※2
	中間検査無	98	7,833	79.9		18.5%
	中間検査有	431	35,685	82.8		81.5%
	□ 低入札工事	39	3,191	81.8	89.7%	※2
	中間検査無	4	322	80.5		10.3%
	中間検査有	35	2,869	82.0		89.7%
	□ 非低入札工事	490	40,327	82.3	80.8%	※2
	中間検査無	94	7,511	79.9		19.2%
中間検査有	396	32,816	82.9		80.8%	
R7	検査全体	946				
	■ 中間検査	477		101.7%	※1	
	■ 完成検査	469	38,804	82.7	80.2%	※2, 3
	中間検査無	93	7,421	79.8		19.8%
	中間検査有	376	31,383	83.5		80.2%
	□ 低入札工事	33	2,757	83.5	78.8%	※2
	中間検査無	7	562	80.3		21.2%
	中間検査有	26	2,195	84.4		78.8%
	□ 非低入札工事	436	36,047	82.7	80.3%	※2
	中間検査無	86	6,859	79.8		19.7%
中間検査有	350	29,188	83.4		80.3%	
前年比		R7/R6	平均点の差(点)	中間検査実施率の差		
	検査全体	91.2%				
	■ 中間検査	93.9%		5.7pt		
	■ 完成検査	88.7%	0.4	-1.3pt		
	中間検査無	94.9%	-0.1			
	中間検査有	87.2%	0.7			
	□ 低入札工事	84.6%	1.7	-11.0pt		
	中間検査無	175.0%	-0.2			
	中間検査有	74.3%	2.4			
	□ 非低入札工事	89.0%	0.4	-0.5pt		
中間検査無	91.5%	-0.1				
中間検査有	88.4%	0.5				

※1 見掛中間検査実施率:完成検査件数と中間検査件数の単純比率

※2 実質中間検査実施率:完成検査件数とそのうちの中間検査受検済みの完成検査件数の比率

※3 完成検査470件のうち、500万円未満の考査なし工事が1件あるため469件で算出

※ 備考欄の「%」は中間検査”無”と中間検査”有”の割合を示す

◇令和7年度の専門検査員による検査件数は947件で、前年度比91.2%(91件の減)だった。

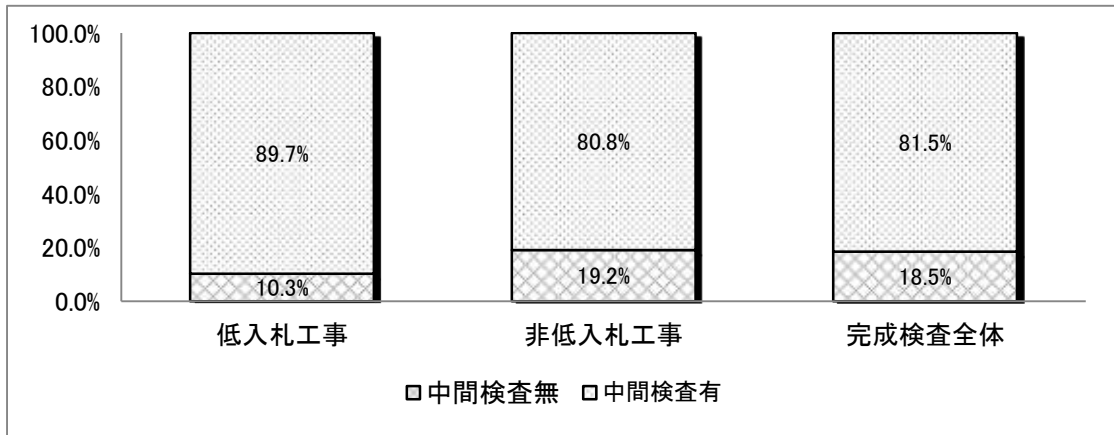
◇そのうち、中間検査は477件(前年度比93.9%)、完成検査は470件(前年度比88.7%)だった。

◇成績考査対象の完成検査469件のうち、中間検査を1回以上受検した工事の割合は80.2%だった。

◇中間検査実施状況で平均点を比較すると、中間検査実施工事が83.5点、中間検査未実施工事が79.8点と、平均点に3.7点の差があった。

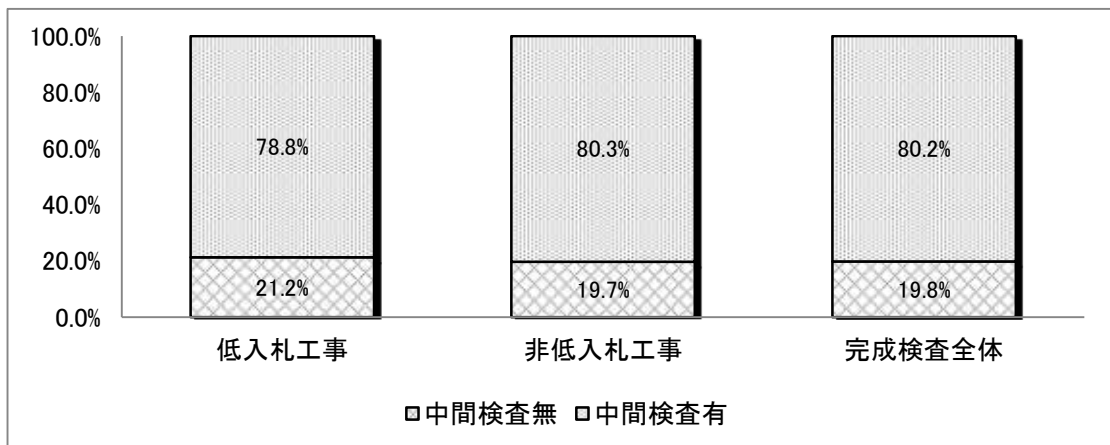
〔中間検査実施率の比較〕

R6年度



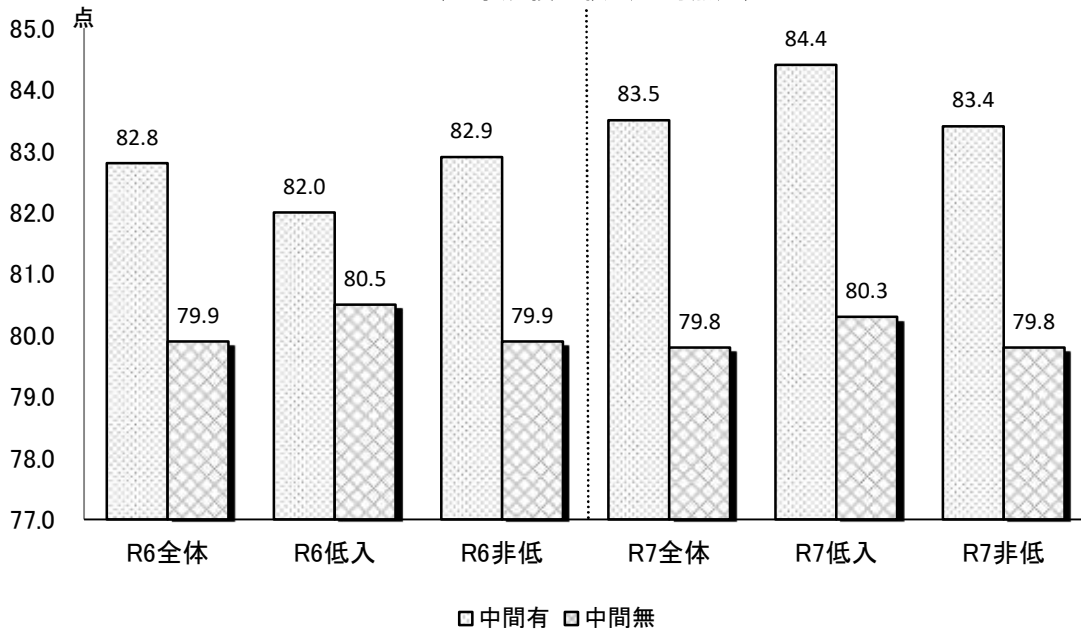
◇令和6年度に実施した完成検査において中間検査を一回以上受検した工事は81.5%、うち低入札工事では89.7%、非低入札工事では80.8%だった。

R7年度



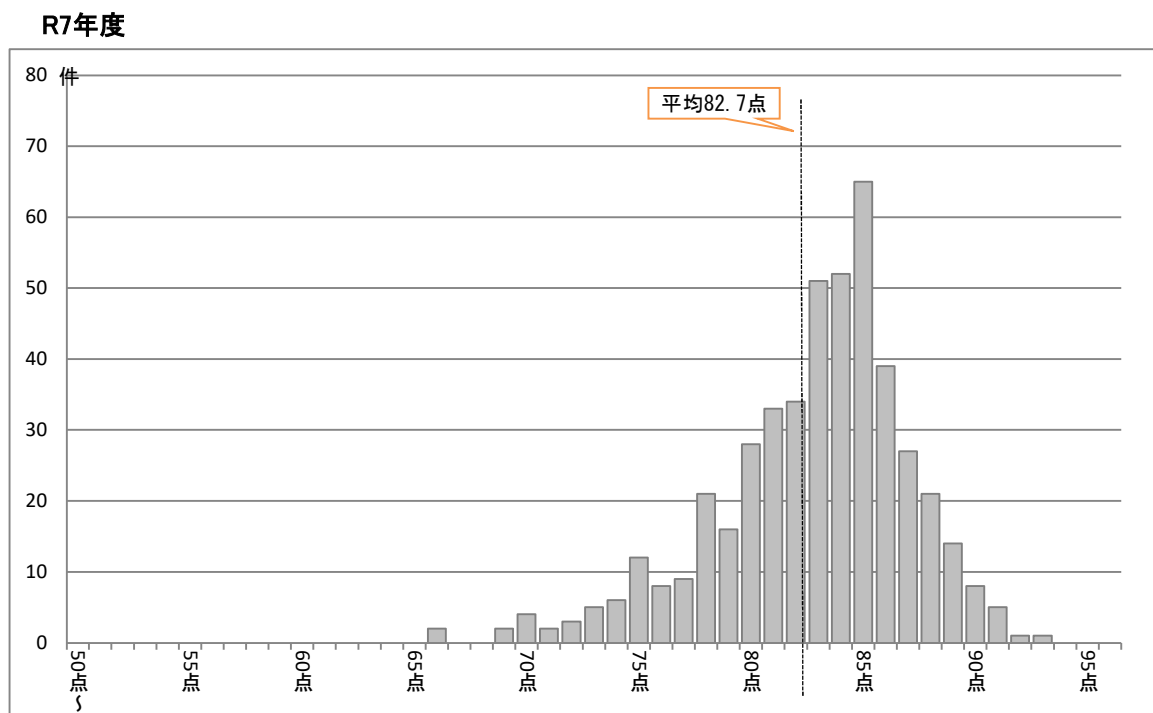
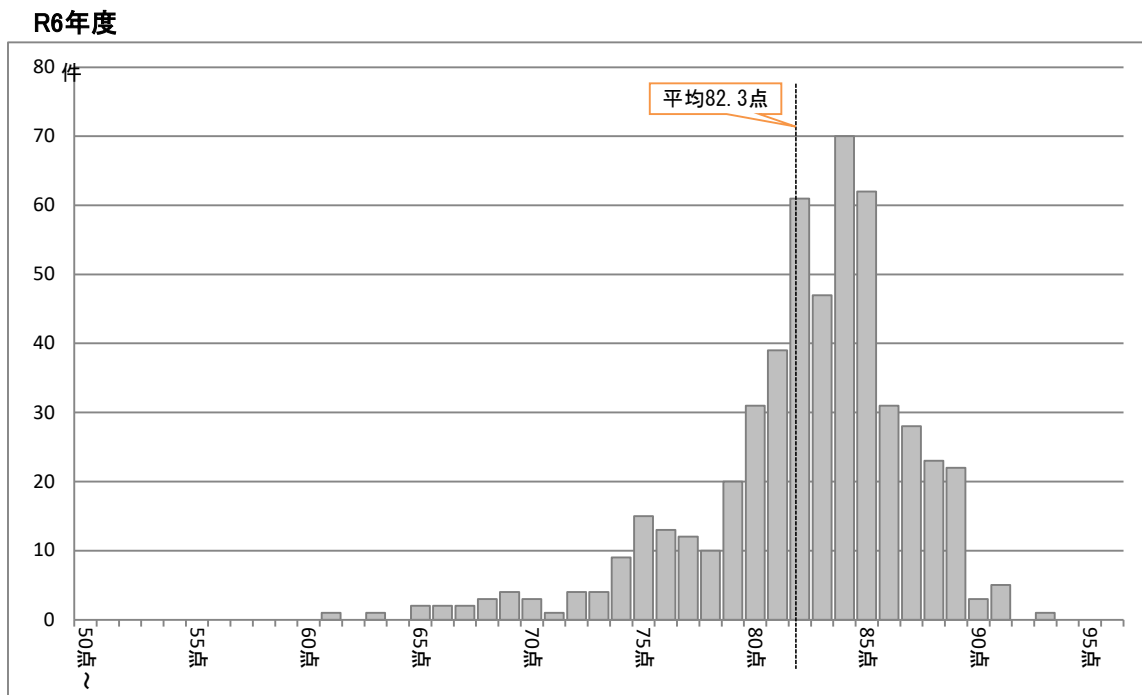
◇令和7年度に実施した完成検査において中間検査を一回以上受検した工事は80.2%と、前年度と同程度の実施率であった。

〔工事成績比較（平均点）〕



## 2) 工事成績分布

〔工事成績の分布〕



◇令和7年度における工事成績平均点は82.7点、最頻値は85点だった。前年度と同様に高得点側に傾く傾向があった。

## IV 令和7年度検査結果と主な指導事項

### 1) 令和7年度検査結果と令和8年度目標

#### 【検査結果】

- 令和7年度の検査件数は、1,469件と前年度に比べ95件(6.1%)減少した。また完成検査については818件と前年度に比べ100件(10.9%)減少した。
- 専門検査員による完成検査の工事成績の平均点は82.7点と前年度(82.3点)に比べ0.4点高くなった。
- 中間検査実施率は80.2%となり、前年度に比べ1.3ポイント減少した。工事成績を中間検査の有無で分けると、3.7点の格差が見られる。

#### 【令和8年度目標】

- 工事検査について、確実な契約の履行確保に向け、計画的・効率的に実施するとともに、中間検査の実施促進による工事施工段階での確認や受検者への効果的な指導を行うことにより、工事目的物の品質の確保・向上に努める。
- 公平かつ客観的に工事検査を実施するとともに、工事成績考査結果の上位者公表や他の模範となる優良工事を選定し施工業者を表彰することにより、県内企業の技術力向上への意欲を高める。

### 2) 検査時における主な指導事項

- ICT活用工事施工計画書の記載を国のガイドラインに沿って作成するとともに、実施内容を具体的に記載すること。
- ICT活用工事に係る三次元データのチェックリストは、チェック資料も添付して提出すること。
- 施工体制台帳に作業員名簿を添付すること。
- 施工計画書の現場組織表について、下請業者の役割(工種)を記載すること。
- 施工計画書の安全管理組織表に作業主任者を記載すること。
- 建退協等に参加していない下請業者からは辞退届の提出を受けること。
- 建設副産物マニフェストの記入者については、運転手や処理業者ではなく、排出事業者が責任を持って記入すること。
- 産業廃棄物収集運搬許可証に係る許可車両一覧表の写しを添付すること。